現代社会と人権

名前

問1　社会における対立を解決し、合意を形成しようとする際に重視される考え方のうち、手続きの過程に誰もが参加できているか、また、特定の当事者だけが不当な不利益を被っていないかという視点を何といいますか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 効率
2. 公正
3. 自由権
4. 多数決

問2　国家が独立した国として成立するためには、一般的に三つの要素が必要であるとされています。他国の干渉を受けずに自国の政治のあり方を決定する「主権」、そこに住む「国民」という二つの要素に加え、国家の主権が及ぶ範囲として不可欠な要素はどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）

1. 領土
2. 政党
3. 憲法
4. 議会

問3　クラスで合唱コンクールの曲を選ぶ際、「歌いたい（2点）」「歌ってもよい（1点）」「歌いたくない（0点）」という3段階でアンケートをとりました。このとき、「合計点数が最も高い曲」ではなく、「歌いたくないと答えた人が最も少ない曲」を基準に選ぶという提案が出されました。このような基準を採用する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）

1. 多数派の意見を一方的に通すことで、決定までの時間を短縮するため。
2. 特定のリーダーが決めた選定基準を絶対的なものとして、責任を明確にするため。
3. 強い反対意見を持つ少数派を尊重し、集団全体の不満を最小限に抑えるため。
4. 数値化された統計結果を無視して、感情的な納得感だけで判断するため。

問4　2011年から2014年にかけての統計において、中国の労働賃金がベトナムを上回る水準で推移し、これに連動してベトナムへ進出する日本企業の数が増加している状況が見られます。このように、日本企業が生産拠点を他国へ移転させたり、新たに工場を設立したりする背景にある経済的な理由として、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. ベトナムへ進出する日本企業の数が減少傾向にあり、市場の独占が容易になったため
2. 進出先の国における賃金の高さを背景に、現地での製品価格を上げるため
3. 進出先の国における賃金の安さを利用して、製品の生産コストを抑えるため
4. 中国の労働賃金が急激に下落したため、周辺諸国との格差を是正するため

問5　情報通信技術（ＩＣＴ）の進展により生活が便利になる一方で、情報格差（デジタルデバイド）が深刻化することが懸念されています。この格差がもたらす具体的な社会問題の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 香川県公立入試 類似）

1. インターネット上で他人の著作物を無断で公開し、制作者が本来得られるべき利益を損なわせる。
2. コンピュータウイルスやサイバー攻撃によって、個人の氏名や住所などの重要なデータが外部に漏えいする。
3. SNSなどで不確かな情報やデマが急速に拡散されることで、人々の不安をあおり社会の混乱を招く。
4. 年齢や居住地域、収入などの違いによって、就職の機会や公共サービスの利用において不利益を被る人が発生する。

問6　情報通信技術（ICT）を活用した公共交通の効率化に関する説明として、現代社会の課題解決の観点から正しいものはどれですか。（2022年 広島県公立入試 類似）

1. データ分析に基づき運行経路を最適化することで、経営の安定化や環境負荷の軽減につなげる
2. 都市部における交通渋滞を解消するため、公共交通機関の運行本数を一律に削減する
3. 交通機関の運営をすべてAIに任せ、行政による公共サービスの提供を廃止する
4. 利用者の移動データを収集し、特定の企業の商品を強制的に購入させる仕組みを作る

問7　人や資源、資本が世界規模で行き来する「グローバル化」が進展したことによる経済的な影響として、最も適切な説明はどれか選びなさい。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 企業の国際的な分業が進み、安価な製品が流通する一方で、一国の不景気が世界中に波及するリスクが高まった。
2. 各国が自国内の資源と労働力のみで製品を生産する体制を強化したため、輸入による影響を受けにくくなった。
3. すべての国が平等な経済力を手に入れたため、先進国と発展途上国の間の格差問題は完全に解消された。
4. 情報技術の普及によって対面での交流が不要となり、人の国際的な移動は以前に比べて減少した。

問8　現代社会において、テレビやインターネットなどのメディアから得られる情報を、単に受け入れるのではなく、その真偽を多角的な視点から批判的に読み取り、活用していく能力を何といいますか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. プライバシーの権利
2. 知的財産権
3. メディアリテラシー
4. デジタルデバイド

問9　外国人留学生を対象とした調査において、日本での生活で最も苦労したこととして、日本語の習得以上に「自国と日本との日常生活や宗教上の習慣が違うこと」を挙げる回答が多く見られます。このような現状を踏まえ、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共に支え合って生活する「多文化共生社会」を実現するための姿勢として、最も適切なものはどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）

1. 文化的な摩擦を避けるため、外国人住民が地域社会に参加することを制限し、独自のコミュニティ内でのみ生活させる。
2. お互いの文化の違いを認識し、尊重し合うことで、共に生きるための相互理解を深める。
3. 日本の伝統的な文化や生活習慣を一方的に教え込み、日本社会に同化させるよう促す。
4. 言語の壁を解消することだけを目的とし、宗教や生活習慣などの文化的な背景については関与しない。

問10　公共施設の利用案内で、すべての漢字にふりがなを付けたり、専門用語を避けて平易な文章にしたりする配慮を行う理由として、最も適切なものはどれですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）

1. 視覚に障害がある人だけが指で触って読めるようにするため
2. 特定の利用者だけに限定して利用方法を伝えるため
3. 子どもや日本語が得意でない人も含め、すべての人が情報を正しく理解できるようにするため
4. 機器を使って文章を自動で音声に変換しやすくするため

問11　バリアフリーの考え方に基づき、公共交通機関や公共施設において「心理的な壁」をなくすための取り組みとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 障がいのある人や高齢者への理解を深め、手助けが必要な際に声をかけるなどの意識を育てる。
2. 建物の入り口にある段差を解消し、車椅子でも移動しやすいスロープを設置する。
3. 駅のホームに、視覚障がい者が位置を確認するための点字ブロックを敷設する。
4. バスの車両に、車椅子のまま乗降ができるようなリフトやスロープ板を装備する。

問12　近年、日本を訪れる外国人観光客が増加しており、東南アジアや中近東など、イスラーム教を信仰する人々（ムスリム）を受け入れる機会も増えています。多文化共生の観点から、ムスリムの観光客に食事を提供する際に、宗教上の理由で摂取が厳格に禁じられている食材として適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 牛肉
2. 鶏肉
3. 魚介類
4. 豚肉